

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSWニュース 1月号

2021年1月1日発行
No103

事務局：沖縄県総合福祉センター
西棟2階 小規模団体室

〒903-8603

那覇市首里石嶺4丁目373-1

TEL 準備中

FAX (098)893-1221

E-mail Jim.msw.oaswhs@gmail.com

広報部編集担当：比嘉 浩貴
(沖縄赤十字病院)

MSWニュースは毎月初めに
MSW協会ホームページに更新掲載されています
<http://www.msw-oaswhs.jp/>

今年度末でニュースの郵送を終了します。
MSW協会公式LINE加入のお知らせを
確認して、加入してください。

☆contents☆

MSW協会公式LINEについてのご案内	P2
研修参加報告	P3、4
トピックス	P5
12月理事運営会議録	P6
<休載>	
新入会員紹介、研修部会からのお知らせ、 在宅医療・介護連携報告、自主勉強会報告	

MSW協会公式 LINE のご案内

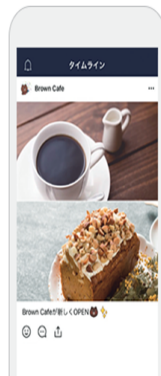
今年度末をもって、郵送でのMSWニュース配布を終了し、ホームページ掲載のみとなります。

毎月初めに公式 LINE でご案内していますので、友だち登録をお願いします。

R2年度総会資料と一緒に、会員の皆さんへQRコードを郵送済みです。
沖縄県MSW協会員の皆様は、下記の流れに従って登録して頂くようご案内いたします。

使い方

- ・タイムライン
研修報告など協会活動を見ることができます
- ・トーク画面
協会からのお知らせを確認します
- ・メニュー
協会ホームページ、研修、MSWニュースそれぞれのリンクにジャンプします



友だち登録の方法①

LINEを開く

- ①左下の△（ホーム）をタッチ
- ②検索欄に入力
「沖縄県医療ソーシャルワーカー協会」
- ③「友だち追加」

完了!!



友だち登録②

LINEを開く

- ①検索欄の右端にある□のマークをタッチ
(QRコードリーダーが起動)
- ②QRコードに合わせる
→協会LINEにジャンプ
(QRコードは、5月総会案内と一緒に郵送済みです。ご確認ください。)
- ③「友だち追加」

完了!!



ぜひ、協会LINEに友だち登録を!!

ご意見、ご質問は
広報部担当までお願いします

沖縄協同病院 地域連携課

長 (おさ) 098-911-5167

ハートライフ病院 患者総合支援センター

高澤 098-895-3255



令和2年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業
「在宅医療・介護連携に係る多職種研修」
—ZOOM ウェビナーに参加して—

大浜第二病院 謝敷 奈津子

去った R2 年 11 月 28 日に、沖縄県入退院支援連携デザイン事業「在宅医療・介護連携に係る多職種研修」の ZOOM 研修に参加致しました。中部病院・東嵩西氏、ケアマネージャー仲本氏・宮城氏、訪問看護・山川氏、大浜第一・當銘氏を講師に招き、現場で奮闘する方々から、実際にコロナ禍での現状や見えてきた課題について共有していただきました。

R2/1/16 に日本で初めてコロナ感染者が発生したのを皮切りに、日本各地で感染が広まり 2/14 には沖縄県でも初めての感染が確認され、3 月中旬から緊急事態宣言が出されるまでに拡大となりました。医療機関では、クラスター発生などで逼迫する病床を抱えながらの退院支援に難渋し、急性期では早期に院内での出口対策としてチームを作成し協議を行い、在宅や施設で受け入れが不安の声が挙がれば、直接医師が出向き、感染の勉強会や、地域をまとめる行政へも声をかけ研修会を行うなどの取り組みを行っていた事を知りました。さらにコロナ禍で面会制限がかかる中でも、本人・家族の思いに寄り添い、その人らしい暮らしや交流人権を守る事の重要性を再認識したりと、どのような状況でも目指す方向や、すべき事は明確である事を実感できました。

在宅現場では、実際にコロナ罹患や濃厚接触に伴うサービス利用停止や、生活基盤の変化など、よりリアルな事例に当時の本人・家族をはじめ、ケアマネージャー・その他関係者の不安や疲労は計り知れない状況であったのだな、とひしひしと感じました。

さらに沖縄県高齢者福祉介護課の富山さんから、県としての状況把握や取り組みなど報告してもらい、沖縄県で暮らす県民としてコロナ禍に一人一人、ひとつひとつの事業所が、一丸となって乗り越えていけるように現状・課題が共通認識が出来た場でありました。

今や世界中で感染者や死亡者が出ており、生活困窮者や潜在化されていた家族の問題などがより表面化するきっかけとなるコロナ禍において、よりソーシャルワークの必要性を実感し、より多くの方へ貢献できるように日々精進していきたくと思いました。

企画していただきました関係者の方々、演者の皆様へこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

令和2年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業
「COVID-19 感染拡大〈緊急時宣言〉下の入退院支援連携～第3波に
備えて事例に学ぶ～に参加して

ハートライフ病院 患者総合支援センター 兼次 珠理

当研修では、各専門職(居宅介護支援事業所・訪問看護・医療機関・看護師)からの COVID-19 感染拡大下での活動報告を聞いた。以下3つの報告が印象に残った。

居宅介護支援事業所のケアマネジャーの報告では、デイサービスで発生した陽性者の発生時からの対応、治療終了後の患者の転院先の確保や陰性確認がされずに退院となる患者の在宅サービスの調整等、対応に苦慮している様子が感じられた。陽性患者の移動手段の確保等、通常であれば簡単に出来る調整も、陽性であることにより複雑化しケアマネジャーの負担が多くなっていることが分かった。

訪問看護ステーションの報告では、医療機関の感染対策で面会禁止となったことで、自宅退院を希望する利用者が増加するが、面会制限により入院中に家族指導が出来ないまま退院となり、自宅に帰ってから介護指導を始めるケースが増えている事が分かった。家族は退院当日に初めて本人と会い、家族のイメージしていた本人と実際の本人が違って、家族が戸惑うケースもあるようで、しっかりとした情報提供が必要であることが分かった。

医療機関の報告では、コロナ禍での退院支援について実際の事例報告があった。面会制限のため、自宅退院を希望される患者・家族が多い傾向にあり、家族に会える環境が退院先を決める大きな要因となっていることが分かった。面会制限の中で、在宅サービスへ繋ぐやり取りをいつも以上に密に行い、本人や家族の想いも含め、調整していく必要があることが分かった。

今回の研修で、この感染拡大の中で、コロナだから仕方ないのではなく、入院時から退院まで、ケアマネジャー等在宅での生活を支えるチームとこれまで以上に連携し、信頼関係を構築して、面会制限のなかでも本人や家族、それぞれの想いを受け止めて今後も業務に励んでいきたいと感じた。初めてのリモート研修でしたが、報告だけでなくチャットを使った質疑応答もあり、新鮮で楽しい研修となりました。ありがとうございました。

ソーシャルワーカーの務め 利用者の自己実現促す

沖縄タイムスくらし相談(医療)

2020年12月21日(月)掲載済

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 泰 克之

「やっておいてください」。そうクライアントがソーシャルワーカーに告げる。2人の間には制度利用のための膨大な書類。本人は50歳代で脳梗塞になり、半身が動かない。手は震え、発音もままならない。本人が仕事に復帰するには数カ月以上の時間を要することを医師から説明されており、その中で使用できる制度が見つかった。手続きにあたり、煩雑な書類が残っている。

「こんなに多くの書類を書かせるなんて、この国は病気になった人に制度を受けさせる気なんてないですね」。そう皮肉交じりに笑う。一人暮らしで協力してくれる家族がいないこと、元は建築業でばりばり仕事をしていたのに今の状態になってくやしいこと。それらの思いをはき出した後、私にぼんと書類を投げ出して告げたのだ。

代わりにやってもらえる期待と断られるかもしれない不安が交互に表情に表れる。ソーシャルワーカーも迷う。代わりにやっておくことは簡単だ。自分でできるでしょと突っ返すのはもっと簡単だ。しかしどちらも専門的態度ではないと思う。

相手にことわって席を立ち辞書をもって「一緒に書きましょうか」と告げる。最初は落胆し失望していることが伝わる。しゅしゅと震える手で名前を書き、住所を書く。うまく浮かばない字は一緒に辞書で字を探す。表現がでないときは一緒に考える。そのうち書類が自分の字で埋まっていく。そのたびに本人の表情に変化がある。時間はよけいにかかる。しかし、クライアントは自分の力で制度を申請することができる。

ソーシャルワーカーはクライアントの自己実現を目指す。しかしそれは決して簡単ではない。

※「2020年度、毎月第3月曜日の沖縄タイムス「くらし相談(医療)」欄に掲載されます。皆さんご覧になってください。」

12月理事会議事録

2020年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2020年12月21日(月)19:00~21:00

場所: @沖縄県総合福祉センター

【出席者】新垣会長、當銘副会長、安慶名副会長(司会)、秦副会長、樋口、長(書記)、石郷岡、香村(連絡)、大久保、井上

【委任者】伊禮、山城、小橋川、高江洲、奥平

<各部報告・協議事項>

[研修部]

- 初任研のオンライン開催(案)について報告を受け今年度中にオンライン開催を目指すことを確認しました。
- 研修のオンライン化に伴う備品整備について提案を受け、予算上限確認と必要物品の優先順位を事業担当理事中心に進めることを確認しました。

[広報部]

- MSW ニュース 1 月号編集担当;比嘉さん(沖縄赤十字病院)
- 協会公式 LINE 加入者数;104 名(12/21 現在)
- 協会ホームページアクセス数 11 月;1,525 件(10 月;1,245 件)
アクセス割合 PC;49% スマートフォン;51%

[社会活動部]

- ソーシャルワーク学会の進捗状況報告を受け意見交換を行いました。当協会では事前アンケートについて入力フォームを公式 LINE で案内予定とすることを確認しました。

[事務局]

- 入退会報告:変動はありませんでした。

<その他 報告協議事項>

- 理事会:11/22(日)多職種コンソーシアム参加報告を受けました。
- 理事会:ちゃーがんじゅう課との定例会議報告を受け意見交換を行いました。

取り組みについて合同で報告会を開催します

日 時 : 2021/2/12(金)18:00~を予定

場 所 : Web参加 (発信場所は那覇市役所)

- 九州協議会教育研修部会:会議報告を受け意見交換を行いました。
・令和3年度の中堅者研修については、九州大会開催の決定後検討していきます。
- 沖縄県入退院支援連携デザイン事業:事業の進捗について報告を受け意見交換を行いました。
・「心得パンフレット・ポスター・クリアファイル」12月中の発送を目指します。
- 九州協議会会長会:九州協議会会長会の報告を受け意見交換を行いました。
- 沖縄県ソーシャルワーカー協議会:沖縄県ソーシャルワーカー協議会の報告を受け意見交換を行いました。

※次回理事会 2021 年 1 月 18 日(月)19:00~ @沖縄県総合福祉センター

司会:秦 書記:小橋川 連絡:井上

議事録署名人 新垣 哲治

☆編集後記☆

新年明けましておめでとうございます。2019年の漢字1文字は「密」でした。密の反対語は「疎」です。「疎遠」「疎外」にならないためにも、対話・雑談して絆を深めていきましょう。

あるワクチンが日本へ上陸します。人類の救世主となるか楽しみです。

年末の業務で忙しい中、快く原稿を引き受けてくださった会員の皆様、ご協力いただきありがとうございます。本年度も力を合わせて乗り越えましょう！！



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

